

共生

奈良県生協連

2009年7月

NO.73

万葉のいぶきを求めて—(38)



やまぶきの花

やまぶき 山振の 立ち儀よそひたる 山清水やましみず 酌くみに行かめど 道の知らなく
高たけ市ちの皇み子こ

これまで幾度か名前だけ登場した高市皇子の歌です。この歌は高市皇子が姉の十市皇女の死を悼んで切々たる挽歌3首を万葉集に残していますが、その中の一首です。

十市皇女は天武天皇がまだ大海人皇子と呼ばれていた若き日に額田王との間に生まれました。その額田王はやがて大海人の兄、天智天皇の愛をうけ、十市皇子は天智の皇子、大友皇子の妃となります。大海人と大友の争い・壬申の乱はこうした入り乱れた愛情の糸を縦糸に展開されたのです。十市皇女にとってこの争いは父と夫の争いであり複雑な心境であったでしょう。夫の死語、父の元に引き取られますが、天武7年4月宮中で急死します。日本書紀は「にはかに病おこりて、宮中に薨せぬ」と記すのみですが自殺ともいわれます。

黄色いやまぶきの花の咲く泉とは、黄泉の国のことでしょう。「あの人さまよっている山の泉に、私は尋ねていきたい」という。二人は結婚していたとする説もあります。

第20期県連通常総会 開催

6月20日猿沢荘(奈良市)において第20期県連通常総会を開催しました。代議員・ご来賓・役員・オブザーバー含め約90名が出席し、提案議案についてはすべて承認されました。今期の特徴として、理事会改革の一環として理事選任に当って女性枠を設定、その他永年会長としてご尽力いただいた逸見啓会長がご退任となり、現任の瀧川潔副会長が会長に就任されました。



□ ご来賓を代表して 県消費・生活安全課 山菅善宣課長様よりご挨拶を賜りました。

県では「食品・生活安全課」から「消費・生活安全課」にかわり、消費生活全般を扱うようになりました。しかし、昨年は中国産冷凍餃子事件からはじまり、食品偽装なども後をたちません。新型インフルエンザの県内発生もあり秋以降の第2波に県としても備えていきます。みなさまには、奈良の消費者行政を考える会の発足などでも大変お世話になり、県として地方消費者行政活性化計画の推進を図ります。また、生協連・会員生協においても、消費者視点の活動で支え合う社会の組織づくりがますます発展充実されることを期待しています。



□ その他ご来賓の皆様



県消費生活センター所長 大前利隆様、奈良 YMCA 国際生涯学習事業部部長 渡辺新久様、日生協関西地連事務局藤原綾子様、消費者支援機構関西(KC's)事務局 林輝泰様にご臨席を賜りました。また、全国の生協連合会及び単協、友誼団体より、多数のメッセージをいただきました。心よりお礼申し上げます。

□ 議事関連

大阪樟蔭女子大生協柳澤克哉理事の司会で、総代定数27名中、本人出席24名、委任出席2名、書面議決書1名で総会成立が確認され、ならコープ中野素子代議員を議長に選出し、定刻通り議事に入りました。08年度協議を進めてきた県連の将来像をまとめた「奈良県生協連の将来ビジョン」、改正生協法に基づく役員選任議案、「顧問」に関する規定や会費規定など定款及び規約の一部変更についての提案など、第1号議案から第8号議案まで一括提案されました。その後、各会員生協から活動報告が行われ、採決の結果、全議案が賛成多数で可決承認されました。最後に、奈良高専生協 村田直穂さんが読み上げた総会アピールが確認され総会を終了しました。



もくじ

第20期県連通常総会	1	広がる協同・くらしの輪	7
県連新体制	2	つながる連帯・友好の輪	8
県連総会会員生協活動報告	3～4	ピースアクション	9
消費者行政の動向	5～6	温暖化防止活動	10

□ 09年度新体制は以下の通り

専務以下理事 五十音順

役 職	氏 名	所 属	所属先役職
会長 (代表理事)	瀧川 潔	員外 (市民生活協同組合ならコープ)	特別顧問
副会長	三輪 敏通	奈良県労働者共済生活協同組合	専務理事
専務理事 (代表理事)	仲宗根迪子	市民生活協同組合ならコープ	学識理事
理事	崎濱 誠	奈良県立大学生生活協同組合	理事
	芝田 考一 (新任)	奈良工業高等専門学校生活協同組合	理事
	竹内 繁	奈良女子大学生生活協同組合	専務理事
	立石 昭彦	生活クラブ生活協同組合	理事長
	辻 由子 (新任)	市民生活協同組合ならコープ	副理事長
	前田 陽一	生活協同組合コープ自然派奈良	専務理事
	森 宏之	市民生活協同組合ならコープ	理事長
	柳澤 克哉	大阪樟蔭女子大学関屋キャンパス生活協同組合	理事
	山下 正純	奈良教育大学生生活協同組合	専務理事
監事	坂梨 勝利	奈良県労働者共済生活協同組合	監事
	田村 俊文	市民生活協同組合ならコープ	監事

なお、逸見前会長は名誉会長に就任いたしました。
皆様、よろしくお願ひします。

瀧川潔新会長



三輪敏通副会長



仲宗根迪子専務理事



逸見啓名誉会長



奈良県の生協運動発祥の時から学識理事として35年間、生協の発展に寄与してこられました。

ご専門の経営学だけでなく、平和や福祉など、組合員と共に取り組んでおられます。これからもよろしくお願ひいたします。

新任理事 (敬称略)

辻 由子さん
(市民生活協同組合
ならコープ副理事長)



芝田考一さん
(奈良工業高等専門学校
校生活協同組合理事)



*** 県連総会 各会員生協活動報告 ***

ならコープ 北村元美代議員

事業では地産地消にも取り組み、組合員活動では地域のコープネット（委員会）により産地工場見学などにのべ9,245名が参加しました。また「班長会」から、組合員なら誰でも参加できる「組合員のつどい」に移行し、組合員の自主活動である「コープサークル」は527サークルになり地域ごとに交流をすすめています。また6店舗で定期的に廃食油回収が始まりました。今年度はならコープ創立35周年など様々なことで節目の年です。賀川豊彦氏の献身100年に際し、協同組合の理念を学ぶ機会としたいと思います。



奈良工業高等専門学校生協 藤原里菜代議員

昨年度は4月に新入生歓迎会をしました。自転車通学者が多いことから、事故にならないように「自転車安全点検」の取り組みも行っています。高専祭ではデポジット（130円で販売・返却時10円返却）で飲料水販売を行い好評でした。新入生歓迎用に冊子を作成し、配布しました。学生が「店舗活動」を生協職員と一緒に「お菓子班」「購買班」「ホームページ班」があり、それぞれ熱心に取り組んでいます。



奈良県労済生協 高西正和代議員

正確に保障の内容を伝えることが組合員の満足度を上げることになると思い、コンプライアンス・オフィサー試験に職員の70%が受験しました。また災害時に地域に役立つように職員の30%が防災士の有資格者です。新しい会員を増やす取り組みで昨年度からは、東大寺職員の互助会を通じた交流が始まりました。また、生協法改正に伴い、近畿労働金庫を共済代理店としました。車検は安ければ良いものではなく、安心して車検ができるようにスケールメリットを活かしていきたいと思っています。



奈良県立大学生協 中村麻莉代議員

昨年度は夜間から昼間移行2年目となり、登校する学生の比率も昼間学生が増加しました。パーティ企画を行い、新入生歓迎会や体育祭のイベントを行いました。食生活が乱れがちな学生に向け、栄養士による食生活相談なども行い、冊子も作成しました。オープンキャンパスでもイベントを行っています。一人ひとりの意見を反映できるようより深い関わりあいのある企画を続けていきたいと思っています。



奈良教育大学生協 真部祥代代議員

地域に視野をひろげるために、京滋・奈良地域センターの多くのセミナーに参加しました。新入生歓迎会、食生活相談会、生協夏祭りなどにも参加しました。今年の夏には施設拡張・改装計画があり、組合員からの「ひとことカード」の声を反映していきたいと思っています。組合員の支持を得られるような取り組みを行い、11月からの新装オープンにつなげていきたいと思っています。



奈良女子大学生協 青田江美代議員

学生委員会ウィンディーでは4月に「エントランスイブ」という交流会を行い、入学前の友だちづくりを応援しました。また、新学期の受講相談会では新入生の受講スケジュールの組み立て相談を行っています。七夕祭り、クリスマスパーティも行いチキンなどの販売では大変喜ばれました。また、新入生用に「奈良てくテクMAP」「奈良女の品格」という冊子を作成しました。



大阪樟蔭女子大学関屋キャンパス生協 小中彩那代議員

勉学・研究支援、食生活など、よりよい生活を送れるようにサポートしています。身近なところから「平和」を考えてもらおうと「平和って何だろう」とキーワードを出し合い、大学祭の展示ブースで平和に関する絵本の読み聞かせや折り鶴を折る体験ブースを設置しました。憲法9条に関する冊子も作成しました。組合員の生活を応援し続けていくことが大切と思っています。学びの提案ができるように頑張りたいと思います。



コープ自然派奈良 福田幸子代議員

組合員数は4000人になり、供給高は成長しています。組合員のチーム活動が増え、「チームなっぴー」の菜の花プロジェクトは、地元の小学校とも種まきから関わるようになりました。異文化交流チームでは、食生活や国の情勢を聞く機会になっています。田圃の生き物調査活動や食農体験を通じ地産地消の第一歩にしていきたいと思っています。たくさんの組合員の参加でできた第2次中期計画をすすめていきたいと思っています。



生活クラブ生協 木田洋子代議員

県内5つの地区で3人ずつの地区委員が地区活動しています。生産者と消費者の交流を大事にしながらすすめています。また、環境の分野では、石けん使用やRびん(リターナブル瓶)の返し方ルール of 徹底を呼び掛けていきたいと思っています。1本100円のデポジット制は奈良独自ですが継続していきたいと思っています。今年度はさらに組合員活動が活発になると期待しています。



こむらいふ奈良代表 辻由子さん

県連消費者問題研究会からスタートし、消費者問題に関する様々な立場や資格を持った人たちで成り立っています。消費者問題の調査・提言活動を行い、2006年に1000人アンケートをとり、結果をまとめました。2007年は「今どきのカード事情」、2008年度は「今どきのお葬式事情」を発行しました。出前講座などもしますので、よろしくお願いいたします。



総会終了後 つどい開催

はじめに第1回理事会報告を瀧川新会長が行い、退任された逸見前会長から退任のご挨拶がありました。

ご来賓の消費生活センター所長大前様、KC's事務局林様、関西地連事務局藤原様からご祝辞をいただき、会員交流をしました。労済生協の高西さんは防災クイズ、ならコープのくらし担当理事さんは悪質商法撃退コントを演じていただき、和やかな中にも学びの時間となりました。

増本事務局長の異動、後任の新田事務局長、清水事務局長の着任の紹介をしました。



退任理事 (敬称略)

組織都合により、期中に退任された役員がいらっしゃいます。

お世話になりました。新任地でのご活躍をお祈りしています。



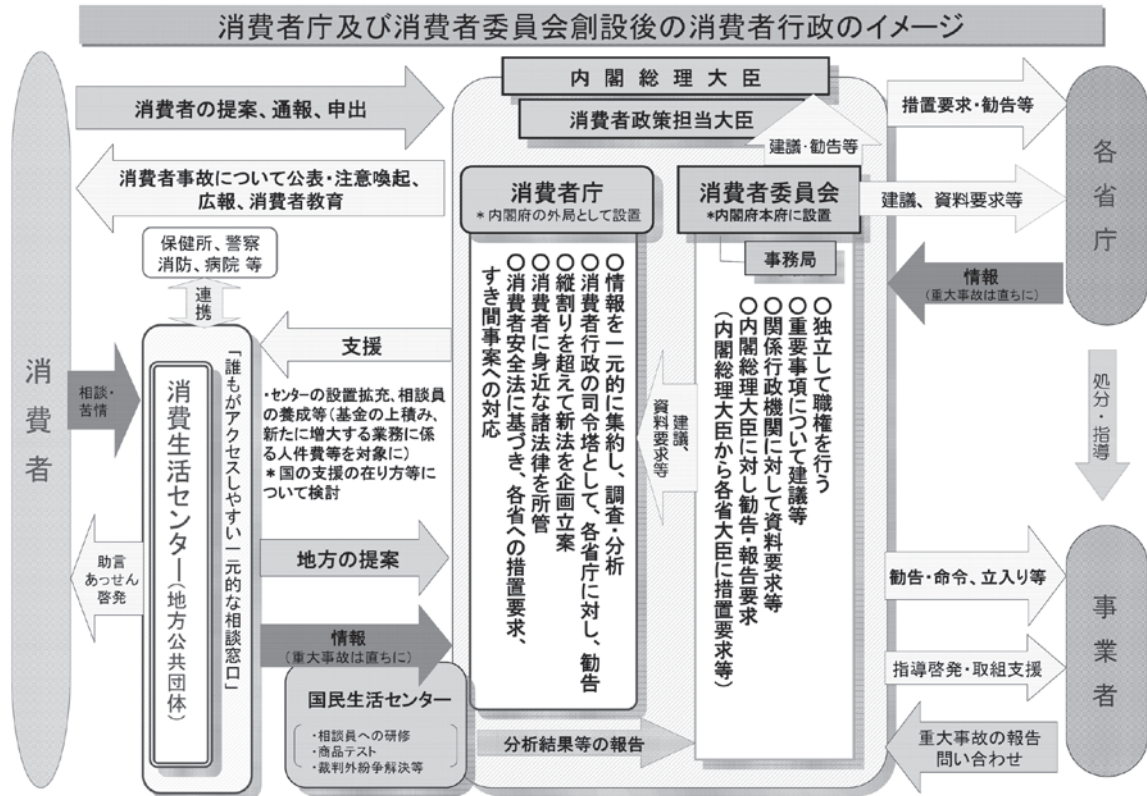
労済生協 山田政広さん



高専生協 友金 一さん

消費者庁、 秋に発足!

消費者庁関連三法「消費者庁及び消費者委員会設置法」「消費者庁及び消費者委員会設置法に伴う関係法律の整備に関する法律」「消費者安全法」が5月29日国会で可決され、秋の消費者庁発足に向けて動き出しました。



<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/shouhisha/3houan/090529/limage.pdf>

ポイントは

消費者庁は内閣府の外局で、各省庁から移籍した200人体制で構成します。

消費者委員会は民間人10人以内で構成し、独立性を保ち、関連省庁に勧告・措置要求ができます。

関係する法律は

表示関係(景表法、JAS法、食品衛生法など) 取引関係(特商法、特定電子メール法、預託法) 業法関係(貸金業法、割賦販売法、宅建業法など) その他関係(製造物責任法、消費者契約法、公益通報者保護法など)

消費者視点の政府機関ができますが、地方消費者行政が連動して進むことが重要です。

奈良県における地方消費者行政活性化計画

消費者行政充実強化のために政府は補正予算で地方消費者行政活性化基金を創設しました。

H21年から3年の時限になっていますが充実強化事業のスタートに充てられます。

<http://www.consumer.go.jp/seisaku/chihou/file/kikin.pdf>

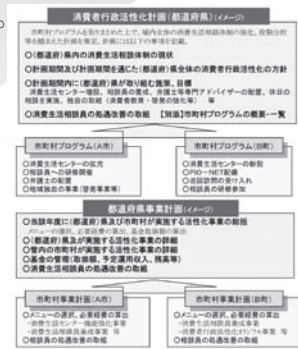
奈良県では総額2億2,261万円の基金を積み立て、

- * 消費生活センターの設置・拡充、相談員拡充等の取組
- * 相談員養成・レベルアップ等のための取組
- * 市町村の相談体制強化のための取組

などに取り組む計画です。

また活性化計画に取り組む市町村は6月現在、11市11町11村になっています。

活性化計画を充実させるためにも市民の関心が重要です。



奈良県における市町村消費者行政の現状と活性化計画について調査報告

「奈良県における市町村消費者行政の現状と活性化計画についての調査」

報告書

奈良の消費者行政を考える会

2009年6月

「奈良の消費者行政を考える会」では3月に県内各市町村に対して調査を行い、報告書をまとめました。

主な調査内容は――

- ・市町村予算と消費者行政部門予算、及びその増減
- ・担当課とその体制、相談業務の現状
- ・庁内他部門との連携、啓発事業や消費者団体との連携
- ・活性化計画と主な取り組み計画、予算
- ・活性化計画に対する県や国に対する要望
- ・消費者行政の将来展望や広域化に対する考え

回収数と率は23市町村(60%) (内訳:市 11/12市 90%、7/15町 46%、5/12村 41%)でした。ご回答いただきました市町村担当者のみなさま、ありがとうございました。

調査から見えてきたことは――

- ☆財政難を反映しているのか、人員体制が不十分である。担当職員が他業務も兼務しており、消費者行政の占める割合が1割程度という回答が多かった。その分、相談窓口が設置されている所では消費生活相談員に過重な負担を強いられていることが見てとれる。
- ☆市町村による格差が大きい。自治体の地理状、人口や予算規模上の違いが大きく、くらしの安全・安心という生命・財産に関わる分野でどこに居住するかによって大きな違いがある。
- ☆活性化計画立案は調査当時では18市町村であったが、6月現在、未計画は6市町村になっている。活性化基金が相談員の人件費に使えないことに不満があるとしても、啓発や研修事業に活用して欲しい。
- ☆啓発事業が不十分で、市民団体との連携も少ない。住民が賢い消費者になることが重要で、そのためにも市民を巻き込んだ取り組みが必要である。

「考える会」ではこれらの課題から、**行政への提言・議会への提言・事業者への提言・市民への提言・考える会として取り組むこと**とした提言を取りまとめました。

今後、行政訪問や報告・啓発活動に取り組む予定です。報告書をご希望の方は奈良県生協連に問い合わせください。(TEL 0742-34-3535)

「地方消費者行政活性化計画シンポ」(全国消費者団体連絡会主催)が6月16日、東京TKP田町ビジネスセンターで開催されました。「地方消費者行政支援策」の今後の課題について池本誠司弁護士から、全国5地域から取り組み報告、パネルディスカッション「消費者庁設立後の地方消費者行政充実強化のために、消費者団体は何ができるか」をテーマにパネリストと会場発言もあって、取り組み交流と課題を深め合いました。

広がる協同・くらしの輪

□日本生協連総会（6月18日・19日）

東京・品川で第59回通常総会が開催され、総会には代議員859人（総数886人）が出席しました。昨年の中国餃子事件や経営環境悪化を受けての総会でしたが、2008年度事業報告・決算、2009年度事業計画・予算等の7議案すべてが賛成多数で可決され、新役員を選任して終了しました。全体会では経営構造改革、自給率と地産地消、子育て広場・福祉事業、長期ビジョンや平和問題など、組合員理事含めて積極的な発言が多く出されました。終了後、新たに設立された日本コープ共済生活協同組合連合会の第1回総会も同会場で開催されました。



□会員生協総（代）会開催

5月28日	奈良教育大生協	6月 5日	大阪樟蔭女子大生協
5月28日	奈良高専生協	6月11日	ならコープ
5月28日	奈良県立大生協	6月15日	生活クラブ生協
5月29日	奈良女子大生協	6月18日	コープ自然派奈良

いずれも議案は承認され無事終了しました。
(労済生協 7月31日開催予定)



□新型インフルエンザ

5月に新型インフルエンザの国内感染が確認されてから、奈良県生協連では連日県消費・生活安全課を窓口に関内での発症の有無や県の対策などの情報収集を重ね、会員生協への迅速な情報提供に努めました。

又、大学生協を中心に総（代）会開催の時期に重なり延期かどうかの判断がせまられ、特に「総会の招集規定」による期間延長の対応に関し奈良県に対応に関する通知を出してほしい旨お願いし、県からは「総会開催の延期届け」を提出することで了解いただきました。これによって、大学の休校処置に伴って大阪樟蔭女子大学生協の総会が延期となりました。さらに6月には、奈良県内で初の感染が確認されましたが、県消費・生活安全課から情報を提供していただき、会員生協に引続き情報提供を行いました。さらに県内で広がりを見せ、学生生活と生協の事業にも影響が出始めています。秋以降、強毒化によるパンデミックも懸念されますので引き続き情報の受発信を強めます。

□地球温暖化対策の中期目標に対するパブリックコメント

5月14日、奈良県生協連専務名で内閣府にパブリックコメントを提出しました。主な内容は
・政府の示した六つの選択肢の中では、「1990年比-25%」を選択すること。
・誘導策は頑張る人ほど恩恵を受ける排出量に比例した公平で合理的な負担を担うこと。
またくらし方の総点検と社会基盤の見直しを主張しました。詳しくはHP活動紹介をご覧ください。

つながる連帯・友好の輪

□アースデー 2009 in 奈良（4月19日）

奈良県流域下水道センター自由広場において、ならコープ・県連共催でイベントが開催されました。大和川クリーン作戦の後、環境団体など25団体の展示ブースや体験コーナー、ミニステージでの報告がされました。大学生協からは大阪樟蔭女子大関屋C生協と高専生協の学生が参加、リサイクル工作や飲料販売を行ないました。今年の特徴は大和郡山市消防局から地震体験車両とはしご車が登場し、多くの関心を集めていました。



□こむらいふ奈良…「今どきのお葬式事情」

3冊目の調査報告冊子を発行しました。誰でも迎える「死」、突然迎えることも多く、心も財布も急ぎの対応を求められます。お葬式を事業面、家族、宗教、お金、生前準備など、多面的にまとめました。また、発行に当っては平成21年度奈良県地域貢献活動事業の助成を受けることができました。出前講座が可能です。自らのエンディングを考えるきっかけにされてはいかがでしょうか。



□地産地消協定締結式（4月30日）

遊休農地を活用して下がりつつける自給率に歯止めをかけ、農産物の生産や消費者との交流をめざして、JAならけんとならコープでは2008年6月に「地産地消をすすめる会」立ち上げました。この度、地元生産品を「たべる“なら”大和」とブランド化し、地元野菜の栽培拡大と利用普及のために両者が協定を締結しました。ちなみに奈良県の食料自給率は15%です。



□消費者フォーラム in 奈良（5月29日）

5月29日(金)なら100年会館で「平成21年度消費者フォーラム in 奈良」が開催されました。

ジェフ・バークランド氏による「消費者が主役になる社会の構築」の講演。消費者ボランティア「グループあんあん」による「悪質業者はこうして消費者をだます」(寸劇)。北條正崇弁護士(奈良消費者行政を考える会代表)、山下真生駒市長、山菅善宣奈良県消費・生活安全課長による「悪質商法から消費者を守るまちづくり」のスリーマントークショーがありました。



平和をつくるのは わたしたち

「子どもたちにのこしたいもの」親子平和のついで

「ふたたび被爆者をつくらないために」

講師 **岩佐幹三さん**

16歳のときに広島で被爆され自らの体験を根底に、金沢大学法学部長として教育・研究にあたりながら被爆者擁護の運動を続けられた。現在日本被爆団体協議会事務局次長



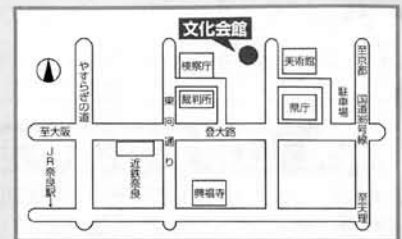
「岩佐さんと語ろう」 壇上で世代を超えた方々が意見交換を行います。

開催日時 2009年8月1日(土)
午後2時～4時30分

会場 奈良県文化会館 小ホール
定員300名(先着順)要申込み

参加費 無料

保育：有り 8ヵ月～未就学児の保育については、有料300円。
事前にお申し込み下さい。



子ども平和広場

会場 小ホールとなりの集会室

ピース・アニメを上映します！

体験してみよう！

ユニセフ「マラリアと水」「食糧分配ゲーム」…

アニメは つるにのって「とも子の冒険」ほか

夏休みのある日、小6の少女のとも子は広島原爆資料館を訪れました。平和公園でとも子は頭上に折り鶴をささげた少女の像に出会います。像の前で一心に鶴を折り始めたとも子の前で不思議なことがおこり…。とも子の冒険が始まります。



代表受付
窓 □

ならコープ組織・広報 CSR 部
コープ自然派奈良サービスセンター
生活クラブ生協

0742(34)8735
0120(408)300
0743(58)5225

※子ども平和広場も、あわせて
受付いたします。
締め切り 7月24日(金)



主催：ピースアクション2009inならをすすめる会

奈良県生活協同組合連合会（ならコープ、コープ自然派奈良、生活クラブ生協、奈良女子大生協、奈良教育大生協、奈良県立大生協、奈良高専生協、樟蔭女子大関屋キャンパス生協、奈良県労働者共済生協）、ならコープ平和の会、ならコープ with ユニセフの会

加速する温暖化防止、まだ間に合う！ コペンハーゲンで決めよう『地救』のルール

4月25・26日に高野山大学で、温暖化問題に取り組む全国の環境NGO、行政、専門家、近畿圏の生協などから約700名が、奈良からは13名が参加しました。デンマーク大使や米国気候行動ネットワークの方から基調講演があり、専門家とNPOの大学生も交え、日本の温暖化対策について議論が交わされました。翌日は4分科会に分かれ議論を深め、最後の全体会では、プロスキーヤーの三浦雄一郎さんからエベレストの危機的現状報告があり、その後「高野山アピール」を採択しました。交渉が難航すると予測されているCOP15での日本の役割を確認する会合になりました。



◦ 温暖化防止COP15ネットワーク関西 奈良林業企画 ◦

シンポジウム 「奈良の宝 山、森 ～温暖化の視点から～」 基調講演：「環境としての森林 ～その営みから生まれるもの～」

名古屋大学名誉教授 只木良也先生



室生寺の歴史ある森、十津川村村長さんからの林業再生の取り組み、奈良県の森林の現状や展望など

日時：9月5日(土) 13:30～17:00 (開場 13:00)

場所：奈良県文化会館 多目的室(地下室)

資料代：300円

主催：温暖化防止COP15ネットワーク関西 奈良県実行委員会：奈良県生協連、ならコープ、奈良県温暖化防止活動推進センター(NPO法人奈良ストップ温暖化の会)、サークルおてんとさん

問い合わせ先：ならコープ組織・広報CSR部 TEL：0742-34-8735

独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて実施します。

◦ 県連理事会報告 ◦

2008年度 第7回理事会

5月21日 奈良県文化会館

〔主な審議事項〕

- 1) 2009年度県連総会 総会議案その他実務に関する件
- 2) 借入金最高限度額に関する件
- 3) 2009年次期体制への申し送り事項に関する件
- 4) その他事項
 - ・温暖化対策へのパブリックコメントの件
 - ・ピースアクション2009の件
 - ・賀川豊彦献身100年奈良企画の件

2009年度 第1回理事会

6月20日 猿沢荘

〔主な審議事項〕

- 1) 理事会の構成に関する件
会長 瀧川 潔
副会長 三輪 敏通
専務理事 仲宗根 迪子
名誉会長 逸見 啓
- 2) 代表理事選任の件
瀧川潔会長、仲宗根迪子専務理事を代表理事に選任した。
- 3) その他事項
 - ・ピースアクション2009 8月1日
 - ・協同組合デーのつどい 7月17日

県連日誌

4月

- 7日 日生協地区別代議員会議
- 8日 こむらいふ奈良
- 9日 第2回地方消費者行政強化の取組み交流会(地連)
- 19日 アースデー 2009 in 奈良
- 22日 奈良の消費者行政を考える会
- 25日 地救フォーラム IN 高野山
- 26日
- 28日 COP15 ネットワーク奈良
- 30日 JAならとならコープ地産地消協定式
- 30日 ピースアクションすすめる会

5月

- 7日 協同組合デー事務局会議
- 11日 県連監事監査
- 12日 こむらいふ奈良
- 12日 つながり祭実行委員会
- 13日 わがまち減災マップシミュレーションすすめ方会議
- 19日 奈良の消費者行政を考える会
- 21日 奈良県もてなし県民会議総会
- 21日 県連理事会、行政協議会
- 29日 県消費者フォーラム

6月

- 3日 ピースアクションすすめる会
- 12日 県防災統括室訪問
- 18日 日生協総会
- 19日
- 19日 全国消団連消費者行政シンポ
- 20日 第20期県連通常総会
- 23日 奈良の消費者行政を考える会
- 24日 奈良農政事務所消費者団体交流会
- 27日 KC's 総会

※会員生協総(代)会は、P7参照

お知らせ

— 特別養護老人ホーム「あすなら苑」開設10周年記念 —

坂本冬美 コンサート2009

日時

2009年10月23日(金)

開演 14:00、18:00

会場

なら100年会館 大ホール

入場料

S席 7,000円、A席 6,000円 (当日500円増)

お問合せ：市民生活協同組合ならコープ コープサービス TEL0742-34-0243

一般販売：ローソン各店、電子チケットぴあ、なら100年会館(6月29日～)

主催：社会福祉法人協同福祉会 後援：市民生活協同組合ならコープ



編集後記

今期の総会で6年間会長を務めていただいた逸見啓先生が退任された。36年前、橿原市のニュータウンで50人ほどの主婦と共同購入を始めたのをきっかけに、ならコープの設立に関わられて以来、学識理事として、研究者として一貫して消費者の立場に立った流通経営を研究・実践してこられた。先生の穏やかなお人柄が奈良の地の生協風土を形作ったと実感しています。ありがとうございます。

また同じく6年弱事務局長を勤めた増本さんも異動となり、以下の3人体制で動き始めます。増本さん、よろず屋の事務局長、ご苦勞様でした。(迪)

扱い慣れないパソコンとまだ取れない電話にアタフタしています。これからよろしくお願いいたします。(順)

このたびの総会から県連事務局を担当することになりました。少し老けた新人です。この仕事を担当するに当たって思い浮かんだのは中学校の体育館にあった額「和而不同」です。「調和を持ってともに成長し、違いを持って互いに補い合う」ということとの意味もあるようです。今後ともよろしく願います。(和)

奈良県生活協同組合連合会 〒630-8136 奈良市恋の窪1丁目2-2

TEL 0742-34-3535

FAX 0742-34-0043

URL <http://www.narakenren.coop/>